

保小間連携推進部会」では、教員間の情報交換、幼児児童生徒間の交流など、全体計画を完成させ、幼保と小の間で授業参観をし、小学校担任による出前授業を行いました。また、特別支援教育をより充実させるために子ども発達センターとの連携体制を構築した部会など、成果を出しています。来年度は、推進の様子が変わるように「見える化」に努めてまいります。

問 体罰について。

答 体罰は、一般的には、父母や教員が、管理責任のある相手に教育的な名目を持って肉体的な罰を加えることを指し、体罰に明確な定義はないものの虐待や暴行や訓練とは異なる行為として、県の公立校の教職員の懲戒処分数は、平成23年度は21件、体罰では0件。本年度は、近隣市で2件の体罰事案があり、本市では口頭訓告事案が1件発生しました。今回の大阪市の事案を受け、体罰に関わらず教職員の不祥事は、学校教育全体の信頼を大きく損ない、失った信頼を回復するには、労力と時間がかかることを、機会あるごとに教職員に問いかけていて、各校では、不祥事をなくすための努力に取り組んでいます。



杉浦敏和 議員

通学路の安全確保について

問 通学路の交通安全確保の為に点検実施状況は。

答 昨年4月、京都府及び千葉県で登校中の児童の列に車が突っ込み、死傷者が出た痛ましい事故を受け、文部科学省・国土交通省・警察庁が連携し緊急合同点検の実施が発表され、当市も昨年、通学路の安全点検を各学校で実施しました。抽出した51箇所危険箇所を、碧南警察署、行政、学校の先生、PTA等と対策を進めています。登下校の安全確保は保護者、地域の方、交通指導員の皆さん、先生方の見守りや立哨指導、交通安全教育や各活動での交通安全啓発活動等行うと共に学校・家庭・地域が協力し、地道な取り組みが大切です。

問 吉棚線が碧南市境まで3月4日に開通しました。通学路の安全確保と対象児童数は。

答 この道路は両側に歩道、ガードレールが完備され安全です。

この学区児童の通学路変更を承認、対象児童は約80人です。
問 通学路変更の周知徹底は。
答 3月中は、毎朝教職員が交代で、交差点に立哨し、児童の安全確保に取り組めます。

神楽山用水上部利用について

問 高浜市に関わる1700M全域の事業計画進捗状況は。

答 神楽山用水上部、ひかり幼保園上流を親水機能を有した遊歩道として、市道高瀬線下流は自然に親しみ、観察しながらこのゆとりが持てるゆとり散策ゾーンとして整備するもので、25年3月末の完了予定です。

問 ひかり幼保園上流の3ゾーンの1部は地元「神楽山ホテル会」で草刈り・清掃を実施。4月には、ヘイケポタルや川魚の放流を計画していますが、市内全域の今後の維持管理は。

答 市道高瀬線上流700Mの区間、ホテル水路・川遊び水路・せせらぎ水路ゾーンは引き続き「神楽山ホテル会」様に維持管理をお願いしていきたい。

上流200Mと市道高瀬線下流は、市の方で管理していく予定です。



鈴木勝彦 議員

保育行政について

問 平成25年度の保育園待機児の状況と対策について。

答 待機児童数の見込み数は19名で、内訳として1歳児が18名、2歳児が1名です。待機児童対策としては定員の弾力運用として新たに33名を受入れ、家庭的保育の拡充では5箇所目を市営湯山住宅集会所を活用し家庭的保育を充実させてまいります。

また、公立幼稚園では平成25年度から、短時間就労に対応できるように冬季、春季休業等も含め8時30分～16時30分までの預かりができるようにして、子ども・子育て関連3法による公立幼稚園の認定こども園への移行を検討していく予定です。

問 今後の認定保育園の整備について。
答 地元の老舗企業と市外で保育園・幼稚園を運営している学校法人関係者より認可保育園をそれぞれ平成26年4月に開園したいとの申し出があります。